

みんな同じじゃなくっていい



違いを認め合う

(財)兵庫県人権啓発協会発行「人権文化をすすめるために」15ページから転載

- 私たちは、「みんなと一緒に」「みんなと同じ」であることにより、安心感をもつ傾向があります。そのことが時には、「みんなと同じでない」ということから、「異質なもの」として排除することにつながる場合があります。
- 人は、それぞれ違った個性や特徴をもっています。しかし、人を個人としてではなく、「国籍」「性別」などの属性で人を見てしまうと、異質なものとして間違った思い込みや一方的な決めつけを生むおそれがあります。そうではなく、自分とは違う人とのかかわりが多ければ多いほど、生き方の幅が広がり豊かな生活が送れるのではないのでしょうか。
- 人はだれも一人では生きていけないものです。多くの人と支え合い多くの人とつながって生きています。
一人一人がお互いの違いを認め、他の人の人権を守ることが、ひいては、自分の人権を守ることにつながるのです。日ごろからお互いの違いを認め合い、その上でだれもがもつ「幸せに生きたい」という願いを大切に作る生き方を心がけることが重要です。



人権チェックリスト

次の設問にお答えください。



- 1, 同居の家族あてに送付された郵便物や電子メール、携帯電話は勝手に見てもいいと思う。 (はい ・ いいえ)
- 2, 近所の人と会話するとき、お互いのことをよく知るために家族の状況(勤め先や子どもの進学先など)を話題にする。 (はい ・ いいえ)
- 3, 普段の家事や地域活動への参加などは、主に女性の仕事であり、家族はたまに手伝えればいいと思う。 (はい ・ いいえ)
- 4, スーパーなどで駐車場が満車だったり、急いでいるときは、障がい者専用駐車場に停めてもよいと思う。 (はい ・ いいえ)

ひとつでも『はい』を選ばれた方は、一度考えてみてください。

家庭・地域・学校など、日常生活の中には様々な人権があります。あなたの何気ない言動で傷ついている人はいませんか。

このチェックリストだけでなく、日常の会話・行動などいろいろな角度から、ご自身の言動を振り返ってみてください。あなたが当たり前と思っていることでも、もしかすると人権を侵害していることがあるかもしれません。





三同教総会記念講演（概要） 有正省三さん ～しあわせづくり・まちづくり～

差別とは、根拠のない噂によって、最初はどうでもいいことであったものが、次々と広がって最後には実態を持つようになることです。自分の責任ではないことが、自分の運命に影響を及ぼす。これは、基本的人権の問題で、一番おかしいことであり、それが具体的に現れたのが部落差別です。

部落問題は、結婚差別の問題が解決したら終了するのだということが、一部で言われていることもあります。果たしてそのように言っているのか私は疑問に感じます。部落差別は解決したのではなく、非常に厳しいデリケートな部分が残っており、その部分は、これまでの人権教育や同和教育の延長の方法では、解決は難しいのではないかと、思っています。抜本的に考え方を見直し、結婚問題のみをとらえるのではなく、それぞれが、心も身体も自由に行き来できるようになることが最終課題ではないか、と考えています。

人権を考えていく上で、気をつけなければいけないのは、相手のことをわかっている、相手は自分のことをわかってくれていると思いつくことが一番危険なことです。もっとコミュニケーションをとり、みんなのしあわせづくりの教育として、人権教育を進めていくことが大切です。



家庭では、お子さんと目を合わせて挨拶をし、微笑を交わし、想いを交流しあうことでコミュニケーションというものを子どもに体得させてほしい。学校での道徳の時間やホームルームでは、人を差別する、人を疎外するということは、自分の心に自責の念や、痛みをずっと背負っていく、自分を苦しめる刃を自分に向けることであるということを、子ども自身に気付かせることが大切です。そうすることで、差別や人権侵害をなくす力が培えます。

今日、時代の流れとともに、いろんな物事の価値観が変わってきています。もっと一人一人の学習のニーズに合わせて、現実の問題と直面するような学習を考えていかなければ、人権を大切に作る世の中には変わっていきません。

人権の原点は、相互に理解をしていくことです。誰もが、もっと人権尊重の時代になるにはどうしたらいいか、そのような話し合いの学習ができれば素敵なことだと思います。

平成22年5月15日（土） 市民活動センターにて



～有正省三さんの紹介～

- 尼崎市の中学校教諭を振り出しに、教職生活を送られる。
- 兵庫県教育委員会人権教育推進室副室長を経て、赤穂市立赤穂西中学校などの校長を歴任。
- 退職後は、たつの市立上笹会館館長も務められた。



平成22年度 三木市人権・同和教育協議会関係年間行事予定表

月 日	内 容	場 所
5 月 15 日 (土)	三同教総会	市民活動センター
〃	三同教専門部会 (学校教育部会・進路保障部会・社会教育部会・白書広報委員会)	〃
5 月 25 日 (火)	東播磨地区人権教育研究協議会定例総会	稲美町
6 月 3 日 (木)	三同教地推協部会	市役所5F
7 月 13 日 (火)	三同教企業部会	教育センター
7 月 31 日 (土)	兵庫県人権教育研究大会東播磨大会	加東市
8 月 7 日 (土)	「人権尊重のまちづくり推進強調月間」 街頭PR活動	市内大型店舗他
8 月 22 日 (日)	市民じんけんの集い(後援)	三木市文化会館
10月10~11日(日~月)	兵庫県人権教育研究大会中央大会	三田市
11 月 13 日 (土)	三同教研究大会	三木市文化会館
11月20~21日(土~日)	全国人権・同和教育研究大会中央大会	佐賀県
12月 4~ 5日(土~日)	三木市立総合隣保館文化祭(後援)	三木市立総合隣保館

※役員会は年4回、4・9・12・3月に実施

皆様のお越しをお待ちしています。
詳細は、後日チラシ等をご覧ください。



三同教活動のようす



人権強調月間の啓発活動



三同教研究大会

第26回 三木市人権・同和教育協議会研究大会のご案内

日 時 平成22年11月13日(土)

13:30~16:30

場 所 三木市文化会館他

☆どなたでも参加できます☆



編集後記

NHKの大河ドラマ
「龍馬伝」を観て



江戸時代が始まるまで土佐藩は、長宗かべ我部氏が治めていました。関ヶ原の戦い(1600年)で西軍の豊臣方であった長宗我部氏は、戦に破れ、領地を没収されました。一方遠江国とねとねみのこく(現在の静岡県掛川市付近)を治めていた山内一豊やまのうちのかずとよは東軍の徳川方に味方したことから、土佐一国を与えられ(1601年)この地を治めることになりました。

NHKの大河ドラマ「龍馬伝」に出てくる上士じょうし(山内系武士)が下士かし(長宗我部氏の旧臣)に不当な扱いをする身分制度。これって何でしょう。(T.I)